



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,500	△23.1	96	△76.8	104	△63.3	△9	—
2020年3月期第2四半期	11,057	△4.3	417	△23.8	283	△53.8	198	△37.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 129百万円 (-%) 2020年3月期第2四半期 △123百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△2.81	—
2020年3月期第2四半期	59.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	25,206	12,429	40.0	3,045.88
2020年3月期	26,720	12,466	37.8	3,047.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 10,095百万円 2020年3月期 10,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	△14.4	140	△74.0	100	△73.2	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	3,362,163株	2020年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	47,809株	2020年3月期	47,809株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	3,314,354株	2020年3月期2Q	3,314,403株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が大きく抑制され、極めて厳しい状況となりました。

このような状況のもとで当社グループは、全社をあげてコスト削減に努め、中国子会社である天津虹岡鑄鋼有限公司および南通虹岡鑄鋼有限公司においては、長期滞留債権の回収に注力し、貸倒引当金戻入益を計上いたしました。また、2019年度を初年度とする『誇り』をキーワードとした第6次3カ年計画を推進し、既存事業の収益構造の改革や新たな分野の開拓、新しい製品の開発、財務体質の更なる強化などの取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、コロナ禍の影響が鉄鋼や自動車、産業機械分野などに大きく波及したことにより、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 85億円（前年同期比 23.1%減）、営業利益 9千6百万円（前年同期比 76.8%減）、経常利益 1億4百万円（前年同期比 63.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失 9百万円（前年同四半期は 1億9千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 鑄物関連事業

鑄型は、エネルギーおよび造船関連が低調で鍛造鋼塊用鑄型は低迷し、自動車および航空機関連の悪化により特殊鋼用鑄型の需要も減少し、売上高は、前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーの需要が減少しましたが、国内電炉メーカー向けの受注残が売上に寄与し、売上高は、前年同期並みで推移しました。自動車用プレス金型鑄物および大型産業機械用鑄物は、各主要顧客先の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。小型鑄物は、電線共同溝用鉄蓋における工事着工のずれ込みや機械鑄物の減少により、売上高は、前年同期を下回りました。デンスバーは、油圧機器や建設機械など各主要業界向けの需要減速を受け、売上高は、前年同期を下回りました。海外事業の天津虹岡鑄鋼有限公司、南通虹岡鑄鋼有限公司は、中国経済の減速や競合の激化により、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、73億7千6百万円（前年同期比 20.8%減）、セグメント利益 1億5千5百万円（前年同期比 48.6%減）となりました。

## ② 環境関連事業

環境装置事業は、大口案件やメンテナンス工事の受注件数が減少し、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、1億7千1百万円（前年同期比 72.8%減）、セグメント損失 6百万円（前年同四半期はセグメント利益 7千9百万円）となりました。

## ③ その他の事業

送風機は、民間設備投資が依然低調なもの、鉄鋼関連の大口案件があり、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、鉄鋼業界の落ち込みによる鉄鋼関連向けの需要減少により、売上高は、前年同期を下回りました。KCメタルファイバーおよびKCカーボンセラミックスは、自動車産業の低迷により需要が減少し、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、9億5千3百万円（前年同期比 14.4%減）、セグメント利益 7千3百万円（前年同期比 27.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、130億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億2千2百万円減少いたしました。これは、主として環境関連事業大型案件の回収が進んだことなどにより受取手形及び売掛金が11億3千2百万円、電子記録債権が3億3千1百万円減少したことなどによります。

固定資産は、121億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ8億8百万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産が5億5千6百万円、投資有価証券が3億2百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、252億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億1千3百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、93億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億9千1百万円減少いたしました。これは、主として短期借入金が6億8千3百万円、支払手形及び買掛金が10億1千2百万円減少したことなどによります。

固定負債は、33億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千5百万円減少いたしました。これは、主として長期借入金が3億2千3百万円減少した一方、繰延税金負債が1億6千万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、127億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億7千7百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、124億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千6百万円減少いたしました。

この結果、総資産が減少したことにより、自己資本比率は、前連結会計年度末の37.8%から40.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日発表の「2021年3月期第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、第2四半期累計期間の業績の上振れに加え、中国子会社において業績回復の兆しが見えてきたことから、前回発表予想を修正しております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118	1,521
受取手形及び売掛金	8,177	7,045
電子記録債権	1,443	1,112
商品及び製品	1,161	1,192
仕掛品	1,202	1,072
原材料及び貯蔵品	928	864
その他	396	254
貸倒引当金	△90	△47
流動資産合計	15,337	13,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,916	2,914
機械装置及び運搬具(純額)	3,975	4,013
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,350	1,872
有形固定資産合計	9,464	10,021
無形固定資産	218	212
投資その他の資産		
投資有価証券	1,567	1,870
その他	131	86
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,699	1,956
固定資産合計	11,382	12,190
資産合計	26,720	25,206

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,588	2,575
短期借入金	4,681	3,997
未払法人税等	23	26
賞与引当金	277	246
その他	2,200	2,532
流動負債合計	10,770	9,378
固定負債		
長期借入金	2,971	2,647
繰延税金負債	139	299
退職給付に係る負債	351	423
その他	21	26
固定負債合計	3,483	3,398
負債合計	14,254	12,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,213	7,038
自己株式	△55	△55
株主資本合計	9,763	9,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	595
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	77	6
退職給付に係る調整累計額	△120	△95
その他の包括利益累計額合計	338	507
非支配株主持分	2,364	2,334
純資産合計	12,466	12,429
負債純資産合計	26,720	25,206

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,057	8,500
売上原価	9,259	7,243
売上総利益	1,798	1,257
販売費及び一般管理費	1,381	1,160
営業利益	417	96
営業外収益		
受取利息及び配当金	28	27
雇用調整助成金	—	41
貸倒引当金戻入額	—	40
その他	12	31
営業外収益合計	40	141
営業外費用		
支払利息	72	59
支払手数料	53	34
その他	48	40
営業外費用合計	174	134
経常利益	283	104
特別利益		
投資有価証券売却益	33	—
特別利益合計	33	—
税金等調整前四半期純利益	317	104
法人税、住民税及び事業税	122	17
法人税等調整額	△19	57
法人税等合計	102	75
四半期純利益	214	28
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	38
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	198	△9



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	214	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△169	211
繰延ヘッジ損益	4	1
為替換算調整勘定	△156	△138
退職給付に係る調整額	△17	25
その他の包括利益合計	△338	100
四半期包括利益	△123	129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63	158
非支配株主に係る四半期包括利益	△59	△29

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	317	104
減価償却費	662	633
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	△28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△41
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35	72
受取利息及び受取配当金	△28	△27
雇用調整助成金	-	△41
支払利息	72	59
支払手数料	53	34
投資有価証券売却損益(△は益)	△33	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,841	1,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71	153
仕入債務の増減額(△は減少)	△442	△1,074
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	82	-
その他	△319	△167
小計	2,181	1,072
利息及び配当金の受取額	28	27
雇用調整助成金の受取額	-	12
利息の支払額	△74	△59
法人税等の支払額	△257	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,877	1,036
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△453	△501
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	45	-
貸付金の回収による収入	0	0
その他	0	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407	△505
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,285	△636
長期借入れによる収入	2,816	-
長期借入金の返済による支出	△5,100	△310
支払手数料の支出	△117	△2
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△165	△165
非支配株主への配当金の支払額	△28	-
その他	△2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,312	△1,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	149	△596
現金及び現金同等物の期首残高	1,882	2,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,032	1,511

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、現在においても継続しており、当社グループの事業活動にも一定の影響を及ぼしております。当社グループは、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を当該会計上の見積りに反映するにあたり、主として次のような仮定を置いております。当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響が、2021年3月期の一定期間にわたり継続するものと想定しております。

なお、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積りおよび判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには不確実性が伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,314	629	9,944	1,113	11,057	-	11,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	1	1	△1	-
計	9,314	629	9,944	1,114	11,059	△1	11,057
セグメント利益 又は損失(△)	303	79	382	101	484	△200	283

(注) 1. セグメント利益の調整額△200百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△139百万円、営業外収益が40百万円、営業外費用が△101百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,376	171	7,547	953	8,500	-	8,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	20	20	△20	-
計	7,376	171	7,547	973	8,521	△20	8,500
セグメント利益 又は損失(△)	155	△6	149	73	223	△118	104

(注) 1. セグメント利益の調整額△118百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△119百万円、営業外収益が61百万円、営業外費用が△60百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。